

研修会名	「シリーズ 脳とこころ<前編> 高齢期」							
企画委員会	福祉分野委員会(委員長:高橋幸市、委員:小野寺敦志、桑田直弥、坂入健二、四ノ宮美恵子、日戸由刈、増沢高)							
企画主旨	2018年 厚生労働省により、高齢者の7人に1人が認知症を患っていることが分かった。そこで、2019年 認知症施策推進大綱として、認知症になっても日常生活を過ごせる社会を目指して「共生」と「予防」の施策が推進されている。認知機能の低下がない時期から認知症を患う時期まで、疾患理解やアセスメントといった多様な支援が心理職にも求められている。この研修では、認知機能の低下や認知症を患う人への理解をすすめ、心理職としてのかかわりについて考える機会にします。							
開催日	2020年	11月	14日 (土)	時間	開始	10:00	終了	13:00
【プログラム】								
午前 10:00~13:00	テーマ	「シリーズ 脳とこころ<前編> 高齢期」						
	講師	粟田 圭一						
	所属	東京都健康長寿医療センター						
	内容	講演						

研修会名	「シリーズ 脳とこころ<後編> 学齢期・青年期」							
企画委員会	福祉分野委員会(委員長:高橋幸市、委員:小野寺敦志、桑田直弥、坂入健二、四ノ宮美恵子、日戸由刈、増沢高)							
企画主旨	脳活動の可視化技術が進展し、心理学と脳科学の関連はますます深まっています。その結果、心理職において脳科学の基本的知識は不可欠になってきているといえます。特に、心理に関する支援を行う際には、人間の感情についての脳科学の知見が有用であると考えられます。この研修では、どうして腹が立つのか、不安をうまくコントロールするにはどうしたらいいのか、自分と他の人の感じ方はなぜ異なるのか、共感を感じやすい人と感じにくい人はどのような違いがあるのか、などのテーマを取り上げることで、学齢期および青年期における心理学の現象を、脳科学の知見に基づいて考えていきたいと思えます。							
開催日	2020年	11月	23日 (月・祝)	時間	開始	9:30	終了	12:30
【プログラム】								
午前 9:30~12:30	テーマ	「シリーズ 脳とこころ<後編> 学齢期・青年期」						
	講師	米田 英嗣						
	所属	青山学院大学						
	内容	講演						

※前編、後編2回合わせたの受講申込となります。(受講料は2回合わせたの金額です)

対象者・定員	公認心理師その他心理職、 守秘義務のある専門職、 心理職を目指す大学院生	定員	300	名
受講料	会員:3,000円、非会員:6,000円、大学院生:3,000円			

注)本研修は公認心理師協会が今後認定を検討している『専門分野研修』システムにおける研修ポイントとする予定です。また、学校心理士、臨床発達心理師、特別支援教育士の研修ポイント、臨床心理士の参加者が3割以上の場合の臨床心理士研修ポイントをそれぞれ申請予定です。